

まんまるはーと月形町



月形町

旬の新鮮情報

2008年10月号



観賞用カボチャ出荷

10月のこよみ

(大) 神無月 (かんなつき)

収穫を終え、国中の神々が新しい年の準備などのために
出陣に集まることから、神が留守になるという意味です。

- 1日【共同募金】
- 8日【寒 露】
秋の涼しさが増して寒涼になることを言う
- 13日【体育の日】
S39年東京オリンピックを記念した
- 17日【貯蓄の日】
- 23日【霜 降】
露は霜となり草木の葉は黄変するいみです

今月の行事予定

- 27日 ・ 第9回 理事会
- ・ 第3回 監事会



新職員紹介



ホクレン月形給油所
配属

佐藤 武美

(昭和36年2月27日生)

※新人、佐藤です。新人ですが47歳
ヨロシクお願いします。

☆抱負

「あなたの今日の仕事は、タッター人
でもよいこの店へ買いに来て良かったと
満足して下さるお客様を作ることです。
あなたに「有り難う」と心からお礼を言
いたいと思うお客という名の友を作るこ
とです。」私の心の目標の詩です。

お知らせ

—農薬の容器類の回収を行います—

本年2回目の農薬容器類の回収を下記日程で
行います。

日時 10月30日(木)・31日(金)
9時～16時まで

場所 JA生産資材店舗前
(衛生センターではありませんので、
間違わないで下さい)

料金 32円/kg(年度末に精算します)

注意 **農薬容器は必ず3回以上洗浄、紙袋な
どは内容物をしっかり払い落とし、残
留がないように搬入してください。**
搬入時は職員・JA青年部が立会し、
もし洗浄が不十分な場合、その場で洗
浄して頂きます。
ポジティブリスト制度が施行されてい
ますので、容器の適正な処理をお願い
します。
(担当：業務部営農推進課)

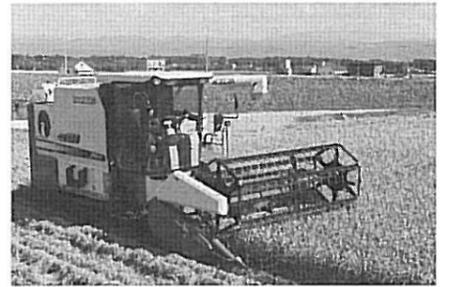
稲刈り開始 こめ工房操業始まる

平成二十年産米の刈り取りが、九
月十五日頃より始まり、町内各所でコ
ンバインが動き始めました。

「こめ工房」の操業は九月一九日よ
り開始され、さらに397九・三七、
ななつぼし一〇・七七を受入しまし
た。「こめ工房」操業にあたり、九月
十日、JA月形町大会議室において、
こめ工房運営委員会が行われ、平成
二十年産米取扱方針とこめ工房荷受
け、精算方法について、担当職員よ
り説明を行い、本年産米の方針が決
定されました。

農林水産省発表の九月十五日現在
作況指数は、全国で一〇二(やや良)
で、北海道は一〇六(良)とされて
います。

今後、作況指数が全国一〇一以上
となった場合に主食用米と区分する



「集荷円滑化対策」
が発動されるか否
かは、十月十五日
の作況指数で最終
的に判断される予
定となっています。
組合員の皆さん、
農繁期に突入して
おりますので、体
調や農作業事故等
に十分気をつけて、
農作業を行いまし
よう。



左奥から 柴田組合長・米林さん
左手前から 櫻庭町長・加藤さん

◎初出荷された方は次の通り

- 稲井 力 さん(雁里)
- 本居 功 さん(雁里)
- 加藤 隆行 さん(新富)
- 米林 博史 さん(南札二)

試験圃稲刈り

九月二十二日
より、空知農業
改良普及センタ
ーの月形試験圃
で、関係機関総
出による稲刈り
を行いました。

本年は「さら
ら397」「なな
つぼし」「上育4
53(ゆめびり
か)」の三品種の
月形町内での適
正を確認しまし
た。今年は、パ
インダーを新調
(中古ですが)し
ましたが、昨年
に引き続き故障
してしまい一部
のほ場で手刈り
を行いました。

本年も先駆者達
の苦労を感じな
がらの稲刈りと
なりました。



フォトニュース



▲札幌市栄西地区ふれあい祭りで農産物即売会
JA青年部が過去より交流している栄西児
童会館が所在する栄西地区のふれあい祭りで
農産物即売会を行い、PR活動を行いました。

職員研修を行う

9月9日、北海道農政事務所地域第八課 江縁
課長補佐、中村業務管理係長を招き「食品表示に
関する取組み」と題し研修会を行いました。

▶観賞用カボチャの出荷が始まりました
「ジャックビートル」「ブッチー」
など8種類の観賞用カボチャが、全国
の市場へ出荷されました。



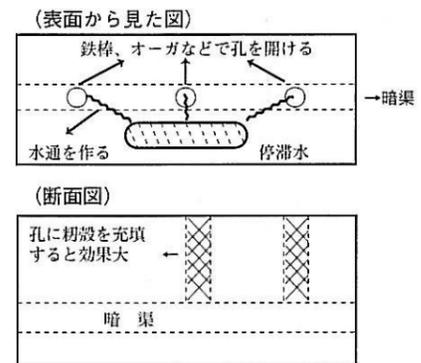
水稲

一、稲ワラの処理
 今年は、いもち病の発生が散見されています。ワラの放置は次年度の発生源になります。また堆肥にしても完全しないうちは発生源となる可能性があるの注意が必要です。ほ場の乾燥促進のためにも、出来るだけ早い時期に集積・搬出し、堆肥化して資源を有効活用しましょう。また、すき込みを実施する場合は、排水良好なほ場において、ワラに水分が十分ある早い時期にすき込むのが理想です。排水不良田へのすき込みはワキの発生を助長するばかりでなく、品質低下や精米蛋白の上昇など弊害を招きます。

二、ほ場の乾燥化
 今年は、水田内の土壌水分が保持されたほ場が多くコンバインのわだちが目立つ部分が見られます。円滑な春作業の実施と、収量・品質の安定・向上のために、停滞水排除と透水性改善へ向けたほ場管理を秋のうちに行いましょう。

①溝切り・溝掘り
 ほ場の畦畔沿いやほ場内に、排水の難易に応じて5〜10m間隔で作溝し、排水口から明きよ排水に落とし、排水口は敷力所増やすと効果的です。

②心土破砕
 深さは40〜50cm程度、間隔2〜5m、既設暗きよと交差する形で施工



③籾殻マンホール
 たまり水部分やコンバインのわだちなどの集中的な表面水の排除に効果的です。(図1)

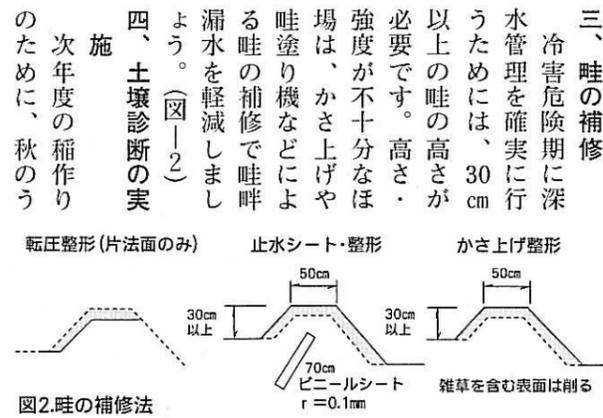


図2. 畦の補修法

図1. 既設暗きよ活用(籾殻マンホール)

二、春まき小麦(初冬まき)
 (一) 土壌改良
 ① pHの矯正
 pHの低いほ場は石灰質資材で5.5〜6.0を目標に矯正してください。

② 排水対策
 排水不良畑では、小麦の越冬中に雪腐病の被害を受けたり、越冬後の融雪水の滞水により出芽不良等の被害を受ける恐れがあります。排水を良くするために秋まき小麦と同様にサブソイラ等による心土破砕や、明渠整備などの対策を行います。

(二) 耕起・砕土
 ほ場条件の良い時期に耕起・砕土・整地を済ませましょう。

(三) は種時期
 10月末日〜根雪直前までとします。春まき小麦は耐雪性が弱く、根雪前に出芽し、本葉が展開すると積雪下で枯死する場合があります。このため、できるだけ根雪前に出芽させない、又は出芽しても葉鞘程度で越冬する時期がは種早限となります。平成19年の調査から、初冬まき栽培では、は種から出芽までに積算気温で110℃前後を要しました。当地区の平年の根雪始11月27日から推算すると、10月30日頃がは種早限の時期になります。

(四) は種量
 10a当たり18〜20kgを目安とし

野菜
 農作業が一段落し、翌年に向けた準備を行う時期になりました。降雪前に育苗床土の準備、ハウスの補修、各作物に適した土作りを行うことが大切です。

一、茎葉残さ物の除去
 収穫が終了したハウスにある茎葉残さ物は、そのまましておくとう病害虫の発生源となります。速やかにハウスの外に持ち出しましょう。

二、施設の修理保全
 春からの風雨の影響によるパイプのゆがみ、曲がり、つま面の出入り口の破損等は、雪の重みでつぶれたり元に戻らない恐れがあるので、根雪前までに補修しましょう。

三、ビニール、プラスチック資材の処理
 使用済みの資材を焼却、投棄することは法律で禁じられています。JA等による回収や指定の登録業者を持ち込む等、適正に廃棄処分します。

四、透水性の改善
 ①明きよは、崩れたり浅くなった部分を掘りあげるなど、定期的に補修します。

②明きよ、暗きよをつなげる排水溝

も補修します。

③サブソイラ等で硬い耕盤層を破砕し、地下浸透を高めます。

五、堆肥の投入と土壌診断
 ①稲わら堆肥等の粗大有機物は、土壌物理性の改善効果が期待されるので積極的に投入します。

②米ぬか、鶏ふん、なたねかす等の有機質は、秋のうちに投入することで翌年からの効果が期待できます。

③ビニールを除去しないハウス内では、塩類濃度が高まります。定期的に土壌診断を行い、過剰な施肥を避けた施肥設計を行います。

④低pHによる生育不良が散見されます。必ず土壌診断を実施し、土壌改善を行います。

⑤連作は、土壌病害を発生しやすくなります。輪作、有機物の補給は土壌病害を低減する効果があります。

花き

■主な花きの越冬前管理について

一、りんどう
 切り残した花茎は、花の下部で折り取り、株の充実を図ります。また、葉枯病・花腐菌核病やアブラムシ類・アザミウマ類は被害残さで越冬しますので、刈り取った茎葉はほ場外に搬出しましょう。

二、宿根性花き(宿根スターチスなど)
 越冬後の病害軽減のため、灰色かび病の被害茎葉を除去しましょう。

三、宿根性花き
 ひまわりなど菌核病が発生したほ場は、株を全て抜きとってから、ロータリー耕等の作業を行います。

■土壌分析の実施について
 肥料高騰している中、効率よく施肥改善を行うには、土壌分析の実施が第一歩です。

一、作付け前にはpHとECの測定を行い、3年以上作付けしたほ場は人間ドックと同じように、すべての土壌診断項目について分析しましょう。

二、特に、養分が蓄積しやすい越冬ハウスや、生育障害(要素欠乏・要素過剰)があったほ場は土壌分析実施後、次年度の施肥改善を行います。

畑作

中に苗床の土壌診断を実施し、特に本年、育苗障害が出た苗床は、早めに土壌診断を行い、本年中に必要な対策をとりましょう。

一、秋まき小麦
 (一) 雑草対策
 連作ほ場や雑草の発生が多いほ場では、スカシタゴボウやスズメノカタタゴボウやスズメノカタタゴボウが必要で、(表1)

(二) 雪腐病対策
 ①排水対策
 雪腐病は、排水不良畑で発生が多く、積雪期間が長いと被害を助長します。融雪水が速やかにほ場の外へ排出されることが大切です。明渠の深さが十分確保されているかを確認し、根雪前に排水対策を実施してください。

②防除
 雪腐病の防除は、根雪直前の薬剤散布が最も有効ですが、作業性等を考慮すると、根雪よりやや早めの11月10日頃を目安とし、好天日に行ってください。晩播等で生育が不良なほ場では、褐色雪腐病防除剤も併用してください。(表2)

表1. 秋まき小麦の除草剤(秋処理)

農薬名	使用時期	10a当り使用量	使用回数	対象雑草
ガレース乳剤	小麦1〜3葉期	100〜150ml	1回	ハコベ・ナスナ・スカシタゴボウ・スズメノカタタゴ
エコパートフロアブル	小麦2〜4葉期	50〜100ml	2回以内	ハコベ・ナスナ・スカシタゴボウ

注1: エコパートフロアブル、ガレース乳剤への展着剤は不要。
 注2: ガレース乳剤は葉の裏面に白化が見られることがあるが回復する。
 注3: 散布数量は10a当たり100%。

表2. 雪腐病の防除薬剤

農薬名	処理濃度・量	適正使用基準		適用病害		
		使用時期	使用回数	雪腐小粒菌核病	紅色雪腐病	褐色雪腐病
リジレックスベフランフロアブル	500〜750倍	根雪前	2回以内	○	○	○
リゾレックスベフラン粉剤DL	3kg/10a			○	○	○
フロサイド水和剤	1,000倍			○	○	○
ランマンフロアブル	1,000倍			○	○	○

注1: 散布後降雨があったり、根雪までの期間が長すぎた場合は、使用基準の範囲内で再散布も考慮する。
 注2: 散布水量は10a当たり100%。
 注3: 褐色雪腐病が発生する恐れのあるほ場はランマンフロアブルを併用する。
 注4: リゾレックスベフランフロアブルとランマンフロアブルを混用する場合は専用展着剤ダイコート2,000倍を加用する。

理事会だより

第八回 理事会議案

(九月十九日開催)

監査報告 平成二十年度

第二回(七月末)定期監査

報告について

付議第一号 平成二十年度

第二回(七月末)定期監査

の事務処理について

付議第二号 J A 全国監査

機構監査の回答について

付議第三号 平成二十年産

米取扱方針(案)について

付議第四号 「こめ工房」出

荷時渡金及び利用料金

の設定並びに出荷契約金

の返納方法について

付議第五号 「こめ工房」十

九年産米本精算(案)につ

いて

付議第六号 南中空知3 J

A合併の検討経過及び合

併協議による確認書につ

いて

協議第一号 J A 月形町役

員研修旅行の実施につ

て

報告第一号 平成二十年八

月末現在組合員の動向に

ついて

報告第二号 平成二十年八

月末現在財務状況につ

て

報告第三号 平成二十年八

月末現在事業計画・実績

対比について

報告第四号 半期ディスク

ロージャー誌について

報告第五号 小口現金管理

要領の制定について

報告第六号 平成二十年度

J A 共済コンプライア

ン 点検結果について

報告第七号 新入職員の採

用について

報告第八号 平成二十年産

小麦「こめ工房」荷受・調

製実績について

こんにちは農民連 - 9月 -

4日・道民生活と地域産業危機突
破空知集会

委員長・副委員長・
書記長・農政

11日・道民生活、経済、地域産業
危機突破1万人集会

書記長・局長

16日・委員長会議 委員長

20日・平田 光男宅葬儀参列

常本委員

22日・小林 龍男宅葬儀参列

書記長

ホクレン♪スタンド情報♪

ハイオク 166 円/ℓ(税込み)

レギュラー 156 円/ℓ(税込み)

軽油 138 円/ℓ(税込み)

灯油 115 円/ℓ(税込み)

(10月1日現在)

ハイオク・ガソリン・軽油の店頭払いは
現金・クミカンの場合2円引きです。

農協文庫 10月号 新刊のお知らせ

今月の農協文庫の新刊をお知らせします。

買取り・貸出しを行っていますので、詳しくは、営農推進課まで連絡下さい。

決定版 カツ代の野菜おかず①

小林カツ代 著

小林カツ代の厳選・野菜おかず集第1弾。いも、根菜、
きのご類といった、秋・冬に旬を迎える野菜を使って、簡
単でおいしくて使いやすいレシピを提案。レポートリーガ
広がること間違いなしの、野菜料理決定版。

水と緑 日本の原風景

富山和子 著

美しい農村風景60点の写真集。日本の文化と労働力の
結晶であるこれらの風景は、「日本列島全体が世界遺産」
という著者の言葉にふさわしい美しさ。環境問題の第一線
で提言を続ける著者の、珠玉の詩文付き。

好評既刊 食料争奪時代の日本農政

山田としお 著

自然災害の多発や、穀物価格・食品価格の値上がり。こ
うした環境の中で、消費者へ安全・安心な食材を届け、景
観を維持し、地域活性化につながる農業振興のために、日
本の農政はどうあるべきかを力強く語ります。

平野由希子のおつまみノート

平野由希子 著

任期料理研究家、平野由希子さんによる初のおつまみレ
シピ集。「身近な素材でささっと作れておいしい」実力派
おつまみを100点以上紹介。酒と料理の意外な組み合わせや、料理をお酒に合わせやすくする工夫も。

好評既刊 病気に強くなる 免疫力アップの生活術

廣川勝昱 著

健康的な生活を送るために重要な「免疫」。病理学的な面
から免疫についてわかりやすく解説するとともに、自分の
免疫力をチェックし、そのタイプ別に免疫力を向上させる
ための生活術をていねいにアドバイス。

好評既刊 しあわせ 米粉クッキング

村上祥子 著

注目の食材・米粉を使ったレシピ集。パンやお菓子のほ
かギョウザやカレー、ハンバーグといったおかずまで42
レシピを紹介。ふんわりもちもちの米粉ならではの食感に、
ほんのりとした甘みが変わります。